

平成 28 年度事業報告書

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日

【主要項目】

- I. 商業施設及び商業施設技術に関する調査・研究及び情報・資料の収集及び提供
- II. 商業施設及び商業施設技術者の業務に関する基準の策定・普及と、商業施設技術者の教育・認定
- III. コンテスト事業
- IV. 就業支援のための情報提供事業
- V. その他商業施設技術に関連する事業

【主要な事業】

I. 商業施設及び商業施設技術に関する調査・研究及び情報・資料の収集及び提供

1. 技術教書の刊行事業

本会発刊の基本教書（技術教書）であり、商業施設士資格試験・学科試験の参考書として、また、商業施設士補資格講習会の講義テキストとして活用・使用されている「商業施設・創造とデザイン」を、本年度においては、増刷刊行を行うとともに、特に本年度においては、平成 29 年 7 月の改訂発刊を目指し、委員会において協議を進め執筆・編集作業に取り掛かった。

2. 情報誌の刊行事業

商業施設及び商業施設技術に関する内容構成とし、商業施設士資格者をはじめ各方面の関係機関にも頒布している、情報誌・機関誌「商業施設」を、年間 6 回（偶数月 5 日発刊／4月号・6月号・8月号・10月号・12月号・2月号）刊行した。

→ P8. に主要項目の一部である「特集 1」「特集 2」「波～デザイン思考」などの目次内容を記載。

3. インターネットによる情報提供事業

本会ホームページを活用して、資格試験案内（願書の無料ダウンロード）や書籍案内、学生デザインコンペ関連などの情報告知を行うと共に、関係機関のイベント事業などの情報提供もおこなった。

4. 自治体、各種機関への協力

東京都港区“店舗改装を支援するための専門アドバイザー（商業施設士）派遣事業制度”に基づく商業施設士派遣要請を受け、日本商業施設士会と協働のうえ、推薦・派遣を行った。

5. みせづくり・まちづくりの研究及び提言事業

みせづくり・まちづくりの研究及び提言については、主に、機関誌「商業施設」を通じて、注目されている商業施設や、商業施設技術に係る内容など、各種情報等を発信した。

6. 情報提供を伴った広報活動

商業施設及び商業施設技術に係る各種情報及び商業施設士資格制度並びにその他本会の事業活動について広く広報活動を行った。

主な活動例としては、①熊本にて開催されている、“地域や産業を「デザイン」の力で元気にすることを目指す『DESIGN EXPO』”において、本会並びに団体会員の活動のPRコーナーを設置。②『JAPAN SHOP 2017（店舗総合見本市／日本経済新聞社 主催）』に本会ブースを設け、商業施設士資格制度の概要やその他本会業務、団体会員の概要・事業の紹介、等を行った。

Ⅱ. 商業施設及び商業施設技術者の業務に関する基準の策定・普及と、商業施設技術者の教育・認定

1. 商業施設士資格認定事業

(1) 資格試験の実施

本年度の商業施設士資格試験を以下の内容等により実施した。

前期・実施日：平成28年6月19日

同・実施地：7都市10会場

後期・実施日：平成29年1月29日

同・実施地：3都市3会場

受験者数計：439名

合格者数計：318名

合否発表：平成28年7月19日〔前期〕及び平成29年3月1日〔後期〕

→ P9. に各会場別受験者数等を記載。

(2) 資格登録事務

資格試験合格者の資格登録事務及び有資格者の資格登録更新事務をそれぞれ行った。

なお、資格登録更新者のうち、「シニア商業施設士」対象者においてはその通知と登録事務を、また「マイスター商業施設士」認定者においてもその登録事務をそれぞれ行った。

2. 商業施設士補資格認定事業

商業施設に関連する、建築系・インテリア系・デザイン系等の教育機関を対象とした、「商業施設士(補)資格制度に係る商業施設関連課程の認定校制度(=「認定校制度」)」において、その認定校の指定された商業施設関連課程を履修した学生を対象として商業施設士補資格認定のための講習会を全国各地で実施した。エリア開催：19会場。学校単独開催：13(校)会場。認定者：1409名。

→ P9. に各会場、受講・認定者数を記載。

3. 商業施設技術に係る教育・支援事業

上記、認定校制度をもとに、商業施設技術に関する教育内容を指南するとともに、同認定校の拡大拡充を図った。なお、本年度中の認定については1校1課程であり、現在の認定校計は167校223課程となった。

また、教育・支援の一環として、学業成績、就学態度ともに優秀な者に対して、本会会長賞の贈呈を行った。75校・85名。

4. 研修会事業

(1) 資格試験対応講座・エリア開催

商業施設士資格試験の対応も視野に入れた、学科講座と実技(設計製図)講座を実施した。

「学科講座」／東京・大阪：平成28年6月4日・・・受講者数：10名

「実技講座」／東京・大阪：平成28年5月28・29日・・・受講者数：11名

(2) 資格試験対応講座・認定校開催

本会認定校で商業施設士補資格者を対象した、商業施設士資格試験・構想表現(実技)試験・『図案表現』の対応も視野に入れた、講座を実施した。

①関東圏・17校 190名、②東海圏・3校 20名、③関西圏・1校 12名

(3) 研修・交流会

商業施設及び商業施設技術の啓蒙に資する各種研修会の実施に向けた検討を行った。

Ⅲ. コンテスト事業

毎年開催をし、商業施設技術者の教育と商業施設技術の向上を目的とした、第14回主張する「みせ」学生デザインコンペを実施した。

応募作品の形式：「A1サイズスチレンボード」に、あなたが思う“主張する「みせ」”を

表現し、主旨書（コンセプト）を添付

応募期間：平成 28 年 11 月 2 日～12 月 2 日（告知：平成 28 年 7 月）

応募作品数：319 点

審査発表：平成 28 年 12 月 22 日（審査：12 月 6 日・20 日）

受賞：最優秀賞 1 点、優秀賞 5 点、入賞 10 点、奨励部門賞 13 点

ファブリック部門賞・秀作 1 点、同部門賞・佳作 4 点

表彰式：平成 29 年 1 月 20 日（建築会館ギャラリー）

展示：平成 29 年 1 月 18～20 日（建築会館ギャラリーにて、入賞作品展示）

→ P10. 巻末に上位受賞者一覧、その他概要を記載。

IV. 就業支援のための情報提供事業

1. 会社情報提供事業

認定校をはじめとする全国の大学等の教育機関へ、商業施設関連業界の会社情報（求人情報を含む）の発信のための内容を協議し関係機関への協力を要請した。

2. インターンシップ促進事業

上記、会社情報提供事業とともに、商業施設関連業界のインターンシップ情報の提供の検討を行った。

V. その他商業施設技術に関連する事業

会員・関係機関が主催するイベント事業に対し、それぞれ後援及び協賛を行った。

- ① 昭和フロント㈱主催
「第 47 回 ストアフロントコンクール」を協賛
- ② ㈱LIXIL主催
「第 28 回 全国フロント施工例コンテスト」を協賛
- ③ (一社)日本商環境デザイン協会主催
「JCDシンポジウム」を後援
- ④ (公社)日本サインデザイン協会主催
「第 51 回 日本サインデザイン賞」を後援
- ⑤ (公社)日本インテリアデザイナー協会
「World Interiors Week 2017 in Japan」を後援
- ⑥ (公社)日本インテリアデザイナー協会主催 西日本エリア企画運営
「AKARI-ISU-TEN2016、関西デザイン学生シンポジウム」を後援
- ⑦ (一社)日本インテリアプランナー協会主催
「IPEC2016」を後援
- ⑧ (一社)関西インテリアプランナー協会主催

- 「第4回 K I P Aモニターメッセ」を後援
- ⑨ (一社)関西インテリアプランナー協会主催
「第1回 インテリアデザインにおけるB I M活用法セミナー」を後援
- ⑩ 日本経済新聞社主催
「J A P A N S H O P 2017」を後援
- ⑪ 日本経済新聞社主催
「フランチャイズ・ショー2017」を後援
- ⑫ 日本経済新聞社主催
「EuroShop//JAPAN SHOP Award 第3回ショップデザインアワード」を後援
- ⑬ (一社)日本照明工業会・日本経済新聞社主催
「ライティングフェア2017(第13回国際照明総合展)」を協賛
- ⑭ まちづくり月間全国的行事実行委員会((公財)都市計画協会内)主催
「第27回 まちづくり月間」を協賛
- ⑮ 住生活月間実行委員会((一社)日本住宅協会内)主催
「平成27年度 住宅月間」を協賛
- ⑯ (一社)日本ショッピングセンター協会主催
「第41回日本ショッピングセンター全国大会」を協賛
- ⑰ (一社)日本能率協会他主催
「第45回国際ホテル・レストラン・ショー」を協賛

付 記

平成28年度理事会開催状況

第1回：平成28年5月11日／仏教伝道センタービル

平成27年度事業報告書(案)・同収支計算書(案)、および社員総会の開催について

第2回：平成28年8月9日／建築会館

平成28年度事業について、および代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況の報告について

第3回：平成28年11月9日／建築会館

平成28年度中間事業報告・同中間収支計算、および同下期事業計画等、ならびに代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況の報告について

第4回：平成29年1月17日／機械工具会館

代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況の報告について、および次期役員改選について

第5回：平成29年3月14日／田町スクエア

平成28年度事業報告・同収支計算、平成29年度事業計画・同収支予算等、および代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況の報告について、ならびに次期役員改選について

■商業施設士 資格試験

〔前期〕

札幌 (北海道建設会館)	1 名
仙台 (みやぎ婦人会館)	6 名
東京 (二松学舎大学／東京家政学院大学／ 日本工学院専門学校／日本工学院八王子専門学校)	329 名
名古屋 (名古屋企業福祉会館)	23 名
大阪 (中央工学校 O S A K A)	22 名
広島 (穴吹デザイン専門学校)	1 名
福岡 (深見ビル)	2 名

〔後期〕

東京 (機械工具会館)	41 名
名古屋 (桜花会館)	8 名
大阪 (大阪府社会福祉会館)	6 名

合計 439 名

■商業施設士補 資格講習会

平成 28 年	5 月 8 日	東京 (実践女子大学)	31 名
	10 月 15 日	東京 (全国家電会館)	90 名
	10 月 16 日	仙台 (みやぎ婦人会館)	30 名
	10 月 23 日	東京 (ICS カレッジオブアーツ)	50 名
	10 月 29 日	大阪 (エル・おおさか)	71 名
	11 月 5 日	名古屋 (名古屋企業福祉会館)	91 名
	11 月 6 日	東京 (全国家電会館)	126 名
	11 月 12 日	広島 (広島工業大学)	37 名
	11 月 12 日	東京 (青山製図専門学校)	27 名
	11 月 19 日	東京 (青山製図専門学校)	40 名
	11 月 21 日	千葉 (千葉日建工科専門学校)	26 名
	11 月 26 日	東京 (東京家政学院大学)	20 名
	12 月 4 日	埼玉 (城西大学)	43 名
	12 月 17 日	神奈川 (浅野工学専門学校)	7 名
平成 29 年	2 月 11 日	東京 (専売ビル)	108 名
	2 月 11 日	岡山 (第一セントラル)	9 名
	2 月 12 日	高松 (サンポートホール高松)	21 名
	2 月 12 日	前橋 (群馬県民会館)	7 名
	2 月 18 日	札幌 (松崎南 1 条ビル)	32 名
	2 月 18 日	熊本 (くまもと森都心プラザ)	23 名
	2 月 19 日	福岡 (リファレンス駅東ビル)	11 名
	2 月 19 日	東京 (専売ビル)	109 名
	2 月 20 日	大分 (日本文理大学)	13 名
	2 月 24 日	東京 (日本工学院八王子専門学校)	100 名
	2 月 25 日	広島 (RCC 文化センター)	32 名
	2 月 25 日	金沢 (金沢市文化ホール)	15 名
	2 月 26 日	名古屋 (名古屋企業福祉会館)	90 名
	2 月 26 日	大阪 (エル・おおさか)	70 名
	3 月 2 日	青森 (八戸工業大学)	16 名
	3 月 5 日	仙台 (みやぎ婦人会館)	17 名

3月11日 鹿児島（鹿児島情報ビジネス専門学校） 20名
 3月13日 東京（日本工学院専門学校） 37名
 合計 1409名

■第14回 主張する「みせ」学生デザインコンペ

受賞（上位賞のみ）

最優秀賞 原田裕美子、浜中壮良、富士田喜之、山川 徹
 北九州市立大学 国際環境工学部 建築デザイン学科
 優秀賞 阿部 勝教 名古屋モード学園 インテリア学科
 佐々木 愛実 宮城学院女子大学 学芸学部 生活文化デザイン学科
 御福 悠史 千葉大学大学院 工学研究科 デザイン科学専攻
 近藤萌々、田丸文菜、米村安結、森屋桃代 多摩美術大学 美術学部 環境デザイン学科
 村上 みずほ 千葉大学大学院 工学研究科 デザイン科学専攻

審査員

豊口 協 長岡造形大学 前理事長
 小坂 竜 乃村工藝社A. N. D クリエイティブディレクター
 万井 純 丹青社 CS 事業部プリンシパルクリエイティブディレクター
 柘植 喜治 商業施設技術団体連合会 会長/千葉大学大学院 教授

協賛

帝人フロンティア株式会社（特別協賛）
 株式会社 総合プランニングセンター
 株式会社 丹青社
 株式会社 つむら工芸
 株式会社 トーガシ
 公益社団法人インテリア産業協会
 株式会社 七 彩
 株式会社 乃村工藝社
 株式会社 シミズオクト
 株式会社 博 展
 西尾レントオール株式会社
 一般社団法人日本ディスプレイ業団体連合会

（表彰式の風景）



■JAPAN SHOP 2017（店舗総合見本市）、本会ブース出展

